

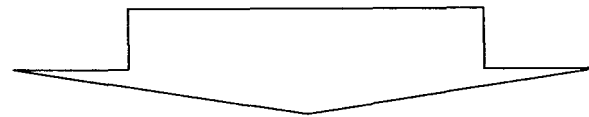
# 精神障害者の退院支援と障害福祉計画

第54回市町村職員を対象とするセミナー

平成18年5月15日

# 精神保健福祉施策の直面する課題

- 精神病床数の多さの反面、地域で精神障害者を支えるための社会資源、支援体制が不十分。受入条件が整えば退院可能な精神障害者が約7万人。
- 障害種別ごとに大きな福祉サービス格差。制度的にも様々な不整合、精神障害者は支援費制度の対象にすら入っていなかった。
- 精神障害者社会復帰施設の整備状況や、居宅生活支援事業の実施状況に大きな地域格差。
- 働く意欲のある障害者が必ずしも働けていない。
- 精神障害への理解不足、根強い偏見。



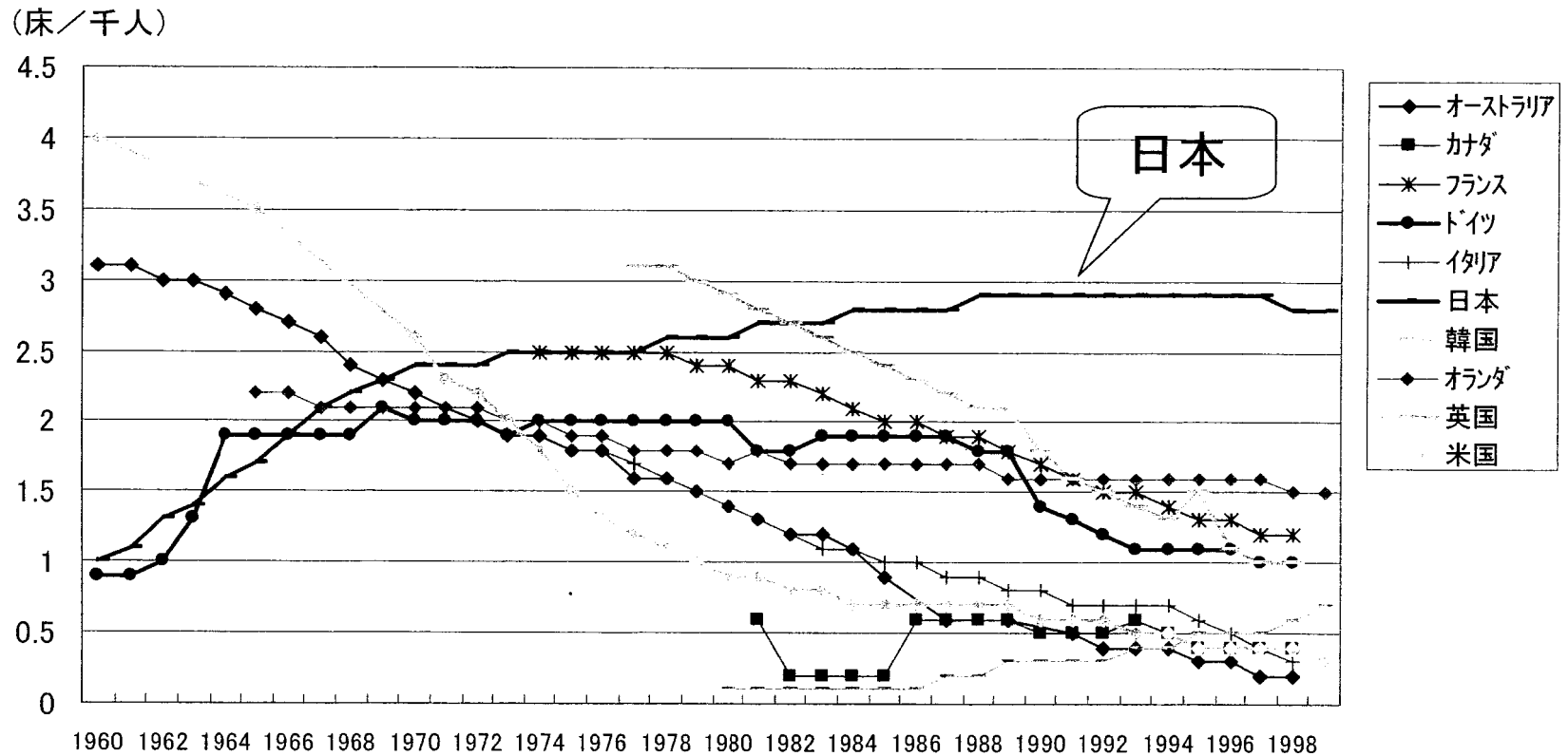
## 障害者自立支援法による支援体制の強化

- ・ 障害福祉サービスの提供を市町村に一元化
- ・ 目的に応じてサービス体系を再編
- ・ 障害福祉計画による地域生活、社会復帰の支援基盤の整備

# 我が国の精神病床数の状況

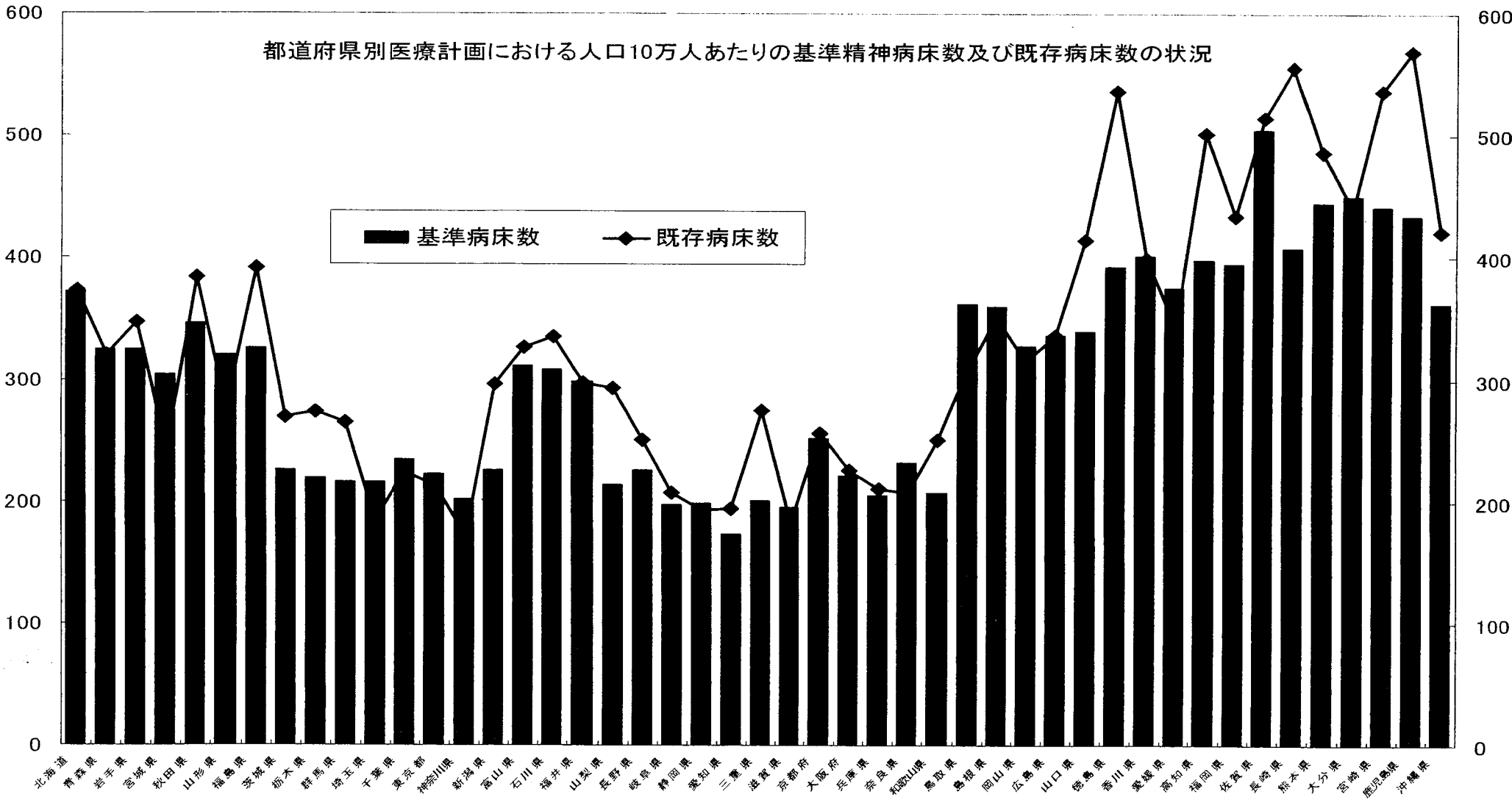
- 我が国の精神病床数は、約35万床。精神病床入院患者数は、約32万人。
- 人口当たりの精神病床数は、諸外国においてはここ数十年で病床削減・地域生活支援強化等の施策を通じて減少しているのに対し、我が国では、概ね横ばい状態であり、かつ、諸外国を大幅に上回っている。

【人口当たり精神病床数(OECD)】



OECD Health Data 2001

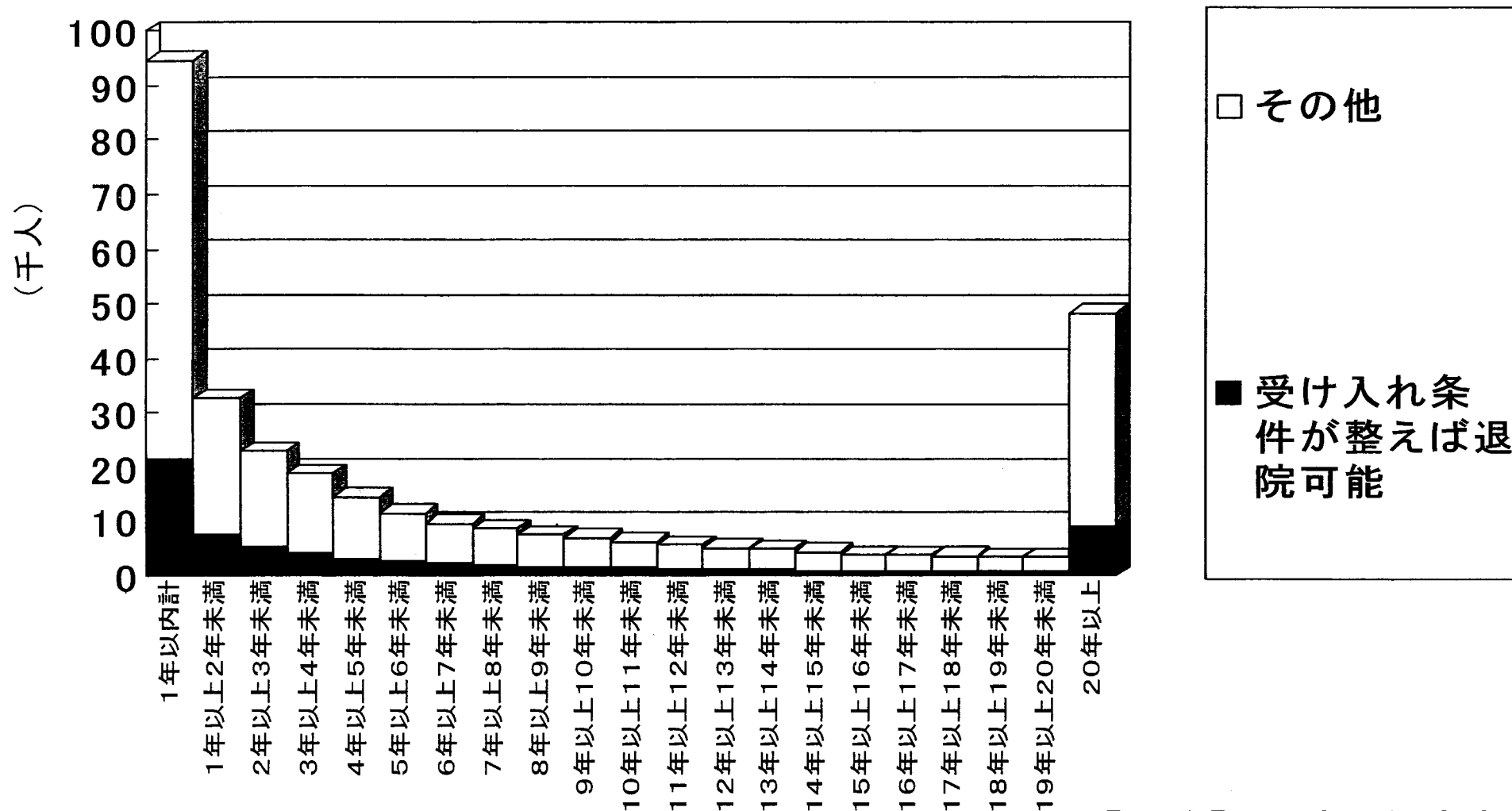
# 基準病床数と精神病床数の状況(人口10万当たり)



(出典:H14厚生労働省調査+H14推計人口) 4

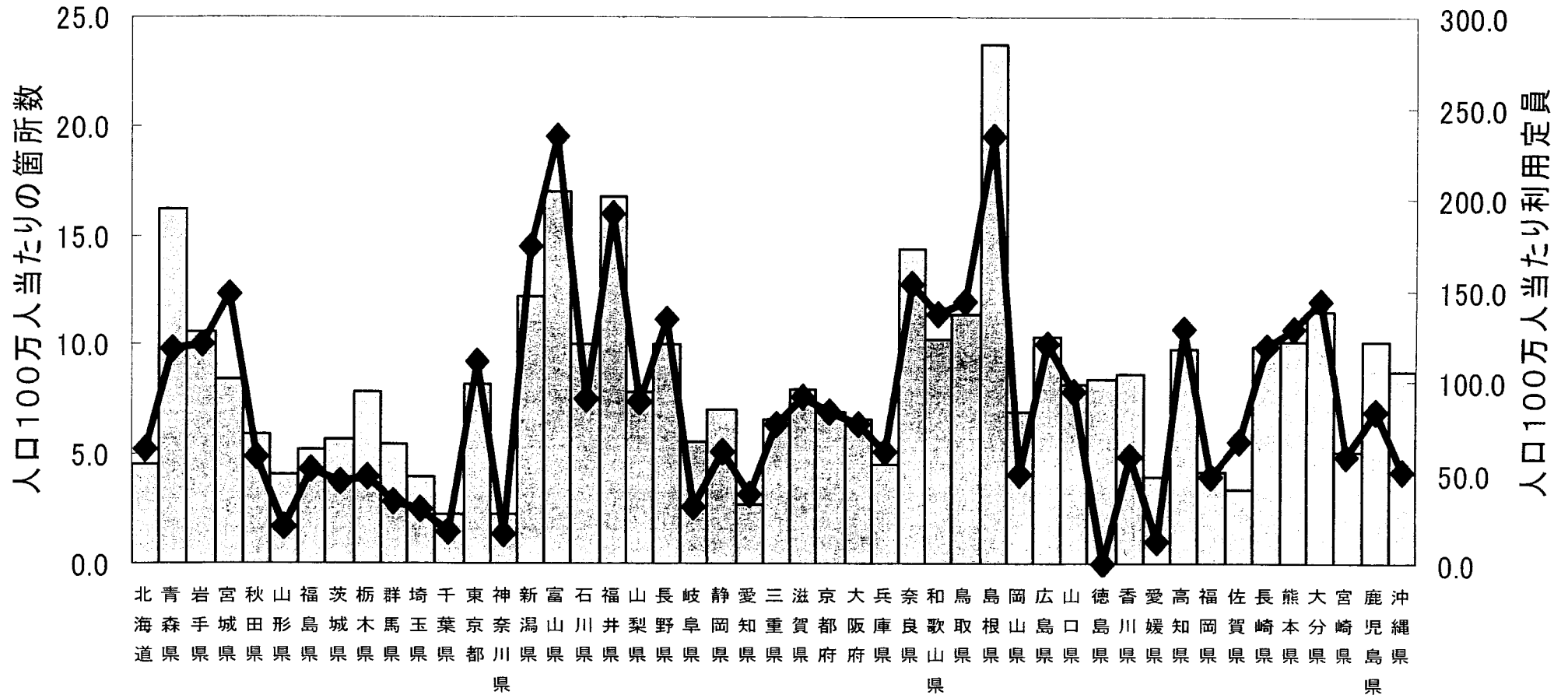
# 受入条件が整えば退院可能な入院期間別患者数

受入条件が整えば退院可能な精神入院患者は約7万人であるが、入院期間から見ると、その約半数は入院3年未満



【出典】 平成14年患者調査

# 社会復帰施設の整備状況(通所型)

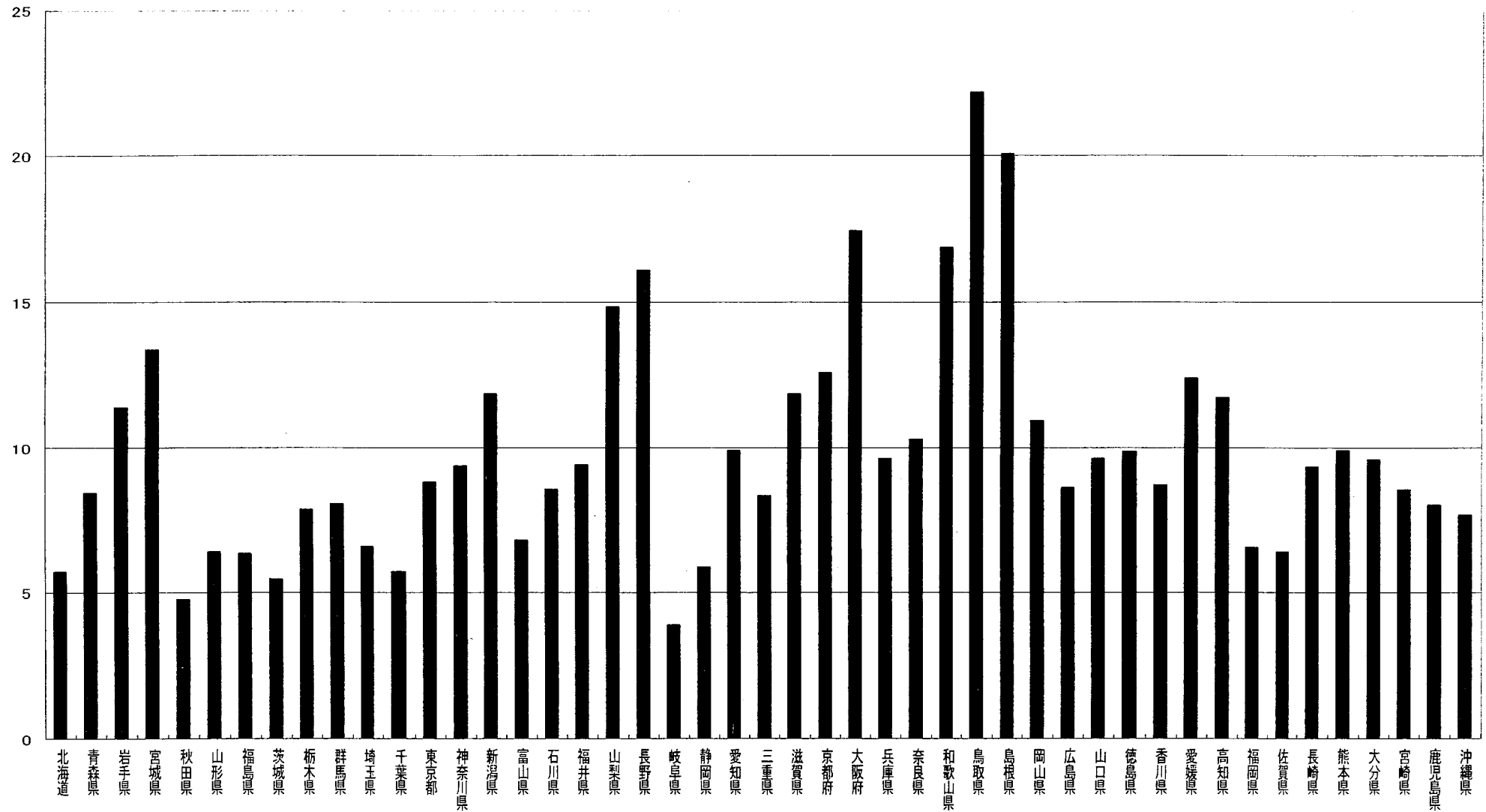


人口100万人当たりの箇所数
  人口100万人当たりの利用定員

# 精神障害者ホームヘルプ利用者数の状況(人口10万当たり)

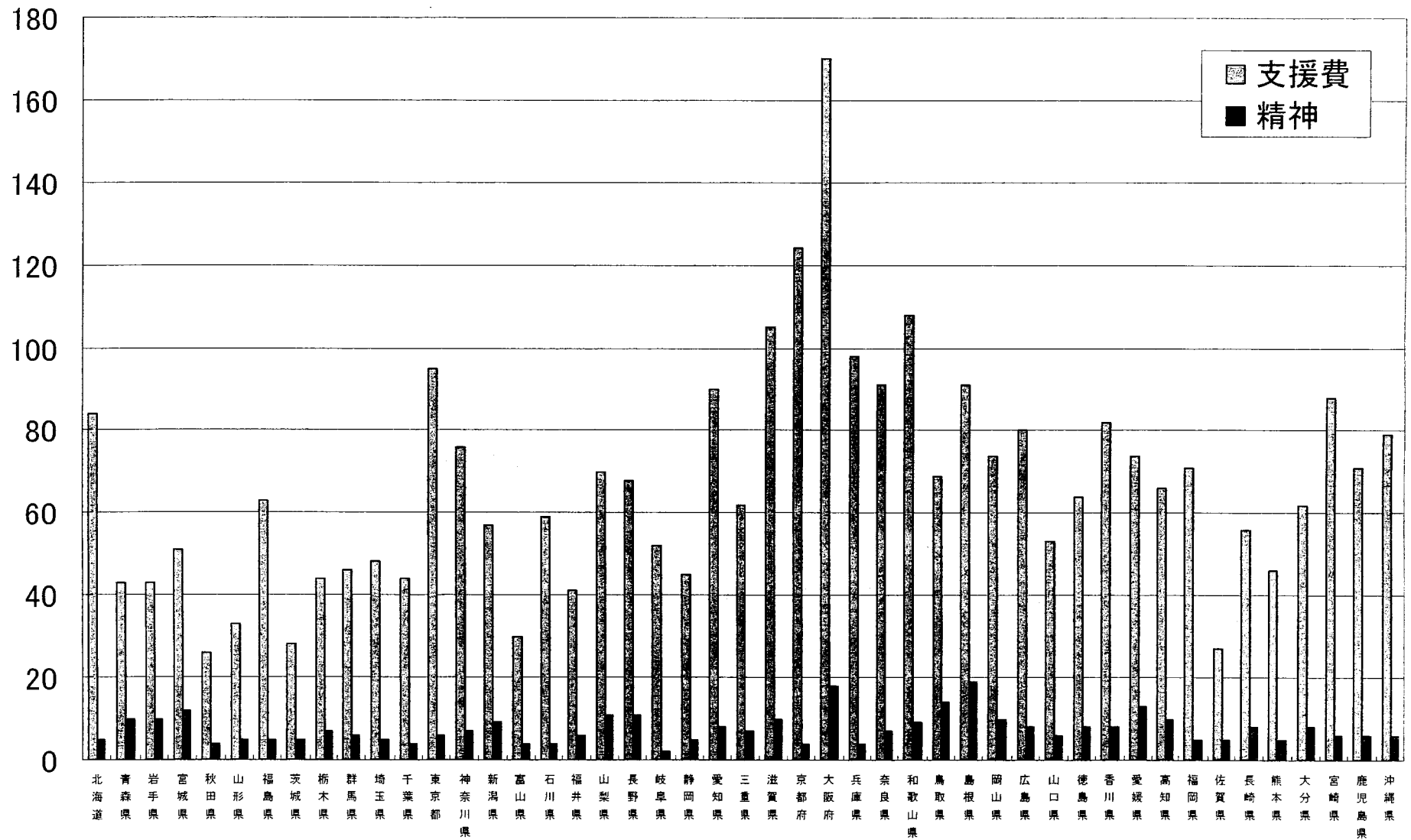
〈平成17年4月〉

単位:人



全国平均 = 人口10万人当たり9.4人

人口10万人当たりホームヘルプ「利用者」数 支援費制度と精神福祉の比較(平成16年10月実績)

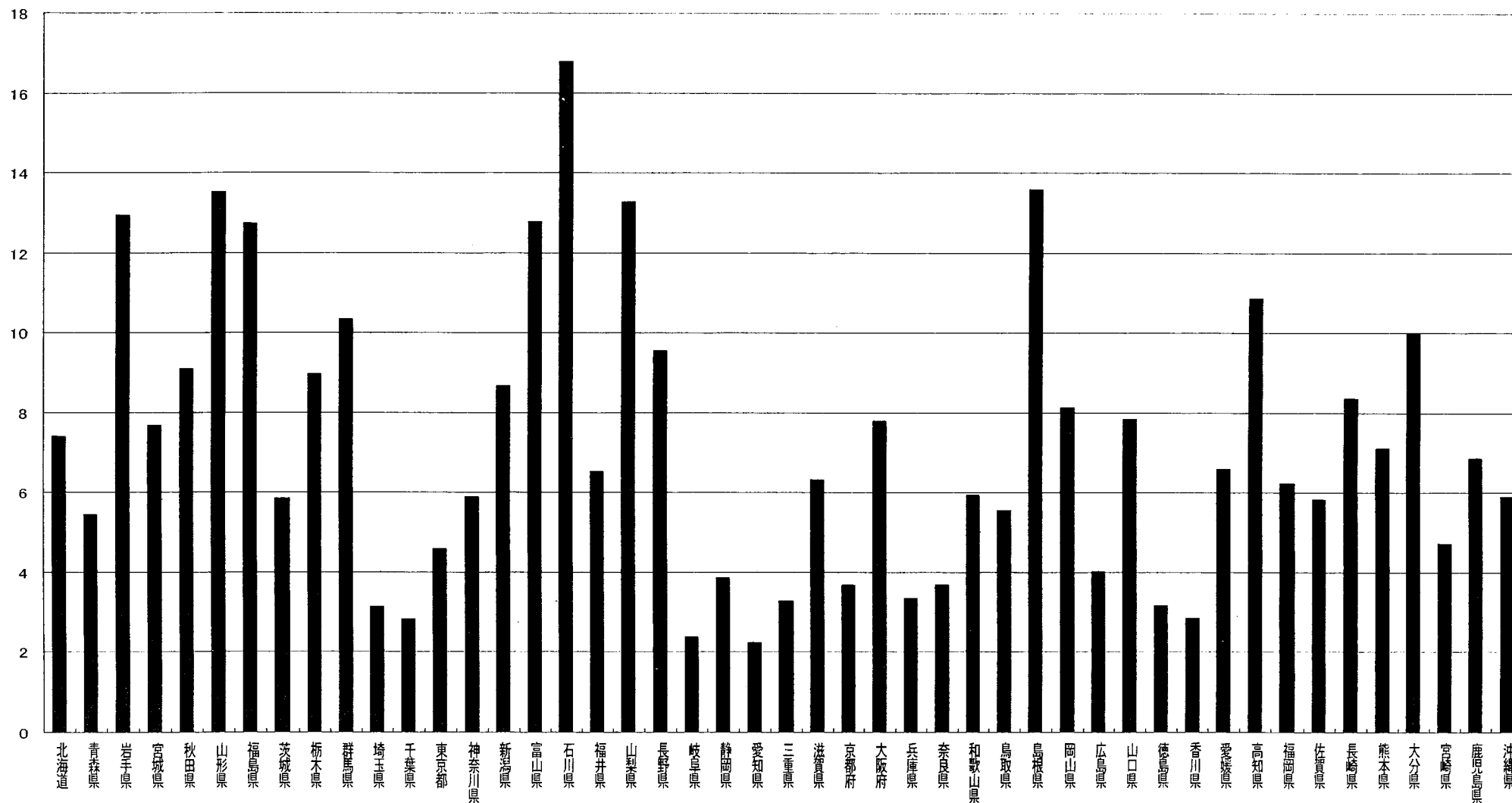




# 精神障害者グループホーム定員数(人口10万人当たり)

〈平成17年4月〉

単位:人



全国平均 = 人口10万人当たり6.1人

人口10万人当たりグループホーム「利用者」数 知的障害と精神障害の比較(平成16年10月実績)

